

⑯ 公開実用新案公報 (U)

昭58—8669

⑮ Int. Cl.³
B 61 L 25/02

識別記号

府内整理番号
7304—5H

⑯ 公開 昭和58年(1983)1月20日

審査請求 有

(全 2 頁)

⑭ 列車乗車位置表示装置

⑯ 実 願 昭56—101942
 ⑯ 出 願 昭56(1981)7月10日
 ⑯ 考 案 者 小清水民男
 　　秦野市春日町3の4
 ⑯ 考 案 者 原田昭治
 　　秦野市堀西634
 ⑯ 考 案 者 横山保

藤沢市辻堂西海岸2丁目12—1
 —513
 ⑯ 出 願 人 株式会社京三製作所
 　　横浜市鶴見区平安町2丁目29番
 　　地の1
 ⑯ 出 願 人 小田急電鉄株式会社
 　　東京都渋谷区代々木2丁目28番
 　　12号

⑯ 実用新案登録請求の範囲

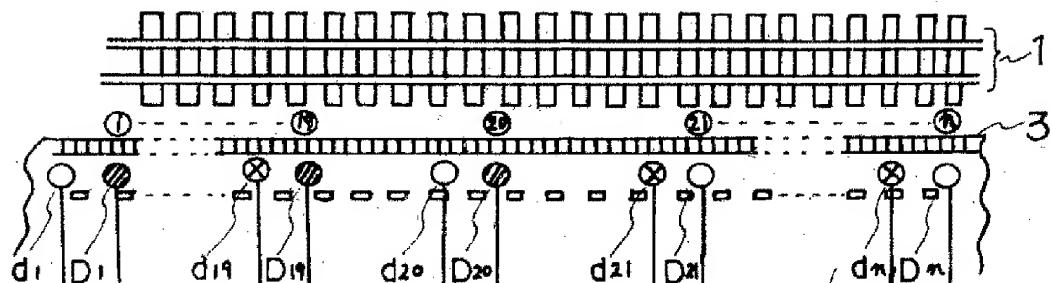
列車のドア口と正面に対向するホーム上の位置を正位置とし、前記正位置に埋設された点灯機能およびフリッカ機能を有する複数の表示灯と、正位置から横へずれて明らかに正位置に整列した旅客の待行列とは別の待行列と判別できる位置を副位置とし、前記副位置に埋設された点灯機能を有する複数の表示灯と、列事情報表示欄に対応してフリッカおよび点灯の機能を有した乗車位置表示欄を有するホームの上部空間に吊下げ設置された吊下げ式行先表示器と、あらかじめ設定された列車発着時刻情報にしたがつて前記正位置および副位置に埋設された複数の表示灯および前記吊下げ式行先表示器の表示を自動的に制御する制御部とからなり、先発列車のドア口に対向する前記正位置の表示灯をフリッカさせ、次発列車のドア口に対向する位置で次発列車のドア口と先発列車のドア口が重なる位置では前記副位置の表示灯

を、次発列車のドア口と先発列車のドア口が重ならない位置では前記正位置の表示灯を点灯させると同時に、前記吊下げ式行先表示器の乗車位置表示欄の先発列車の欄はフリッカさせ次発列車の欄は点灯させて表示することを特徴とする列車乗車位置表示装置。

図面の簡単な説明

第1図は本考案の列車乗車位置表示装置実施例の構成図であり、1はレール、2は2番ホーム、3はホーム先端、4は吊下げ式行先表示器、5は制御部、6は列車発着時刻情報設定部、①～⑯は列車ドア口、D₁～D_nは正位置の表示灯、d₁～d_nは副位置の表示灯を示す。第2図は第1図における先発列車発車後の表示灯と吊下げ式行先表示器の表示を示す図である。第1図と第2図の表示灯および吊下げ式行先表示器の乗車位置欄において斜線はフリッカの状態、白は点灯している状態、×印は滅灯の状態を表わす。

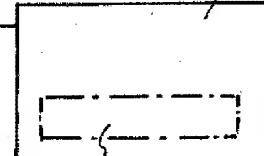
第1図



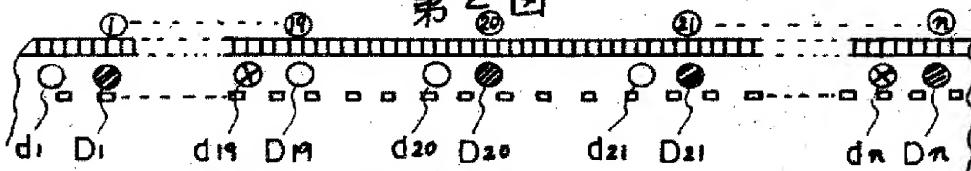
4

2番木-ム行先表示器			
	種別・行先	発車時刻	集車位置
1	特急小田原行	10:00	◎
2	急行藤沢行	10:30	○
	各停片瀬江島行	11:00	×
	特急箱根湯本行	11:30	×

2 5



第2図



2番木-ム行先表示器			
	種別・行先	発車時刻	集車位置
1	急行藤沢行	10:30	◎
2	各停片瀬江島行	11:00	○
	特急箱根湯本行	11:30	×
	急行藤沢行	12:00	×